

※重要

施工会社様へ

この資料は、必ずお施主様へお渡しください。お手入れの方法を記載しています。

スケッチペイントメンテナンスについて

アフターメンテナンス要領

スケッチペイントを末永くご使用いただけますよう、ご使用における注意事項ならびにメンテナンス方法について説明させていただきます。

注意事項：スケッチペイントは、壁面に簡単にマーカーで書き消しが出来る機能壁面を造ることが出来ます。商品特性上ローラー塗装で仕上げますので市販のホワイトボードに比べ表面に凹凸が出来ます。従いまして通常のホワイトボード用イレーサーでは凹部分が消しづらくなります。メガネ拭きや食器拭きに使用するマイクロファイバークロス（以下イレーサークロスと呼称します）・起毛イレーサー等凹凸面にフィットするイレーサーをご使用頂きますと消去性が高まります。

メンテナンス方法：

通常のお手入れは、きれいなイレーサークロスで水拭きと乾拭きで十分です。

スケッチペイントは、使用環境によっては、表面が著しく汚染したり消去性が悪くなる場合が有ります。以下の原因とメンテナンスをご参考になしてください。

消去性低下の原因：

- 1：古くなったマーカー（描書した文字がかすれたり、色が薄くなった状態）は、インク成分のバランスが悪くなるため通常使用時に於いても消えが悪くなる場合があります。
- 2：長時間の書置きおよび日光や冷暖房の排風が当たる場合は消えが悪くなる場合があります。
- 3：古くなったイレーサークロス（繊維の擦り切れ、破れ）、マーカー粉塵が多量に付着したイレーサークロスを使用しますと消えが悪くなります。
- 4：表面を酸、アルカリ等の薬品や中性洗剤で清掃しますとマーカーの消えが極端に悪くなります。

メンテナンス：

- 1：描書した文字がかすれたり、色が薄くなったマーカーは新しいマーカーにお取替えてください。
- 2：繊維が擦り切れ、破れたイレーサークロスは新しいものと交換してください。また、著しく汚れたイレーサークロスは一度水洗いをして十分に乾燥したきれいなものをご使用ください。
- 3：酸、アルカリ等の薬品や中性洗剤による清掃はおやめください。

汚染時のアフターケア方法：

- 1：表面をきれいなイレーサークロスで水拭きした後、乾いたイレーサークロスで乾拭きし水シミが無くなるようにふき取ってください。
- 2：上記メンテナンスで汚れが取れない場合は、市販のアルカリ電解水等でクリーニングしてください。市販のエタノール（99.9%）もより有効です。尚、汚れたイレーサークロスや中性洗剤等のご使用は、逆に汚染しやすくなりますので、ご使用はお控えください。
- 3：イレーサークロスが著しく汚れた場合は、水洗い後十分に乾燥させ、きれいなものをご使用ください。

マグネット吸着力：

スケッチペイントの塗装面は滑りが良いためマグネットペイントの上塗りとしてご使用された場合、一般的な水性ペイントを上塗りした場合と比べて掲示物保持力が多少弱くなります。